

7月 ばら組くらすだより



日に日に暑さが増す中、子どもたちは暑さにも負けず、しっかり水分を取りながら元気に遊んでいます。1学期を振り返ると、進級当初は、新しい環境、新しい先生、新しい友達と、一人ひとりが「新しいばら組」に慣れることで一生懸命だった子どもたち。「新しいばら組」で毎日過ごす中で、環境や一緒に過ごす先生や友達にも慣れ、自分の居場所が見つかり、安心して好きな遊びをしたり、友達と一緒にごっこ遊びをしたりし、楽しく過ごすようになってきました。とても嬉しいことです。これからも、声をかけ合って一緒に遊ぶ中で友達との関わりを広げ、一人一人を認め合える仲間づくり、クラスづくりを目指してい

楽しかった夏祭り

夏祭り当日は、たくさんのお客さんにゼリー屋さん・カメラ屋さん遊びに来てもらい、嬉しそうでした。初めて来店したお客さんにカメラで撮影できる場所を伝えたり、プリントアウトの仕方を丁寧に説明したり、定連さん（何度かお店屋ごっこで交流したクラスの子たち）には、本日のおすすめのゼリーやカットフルーツを売り込んだりしていました。お客さんの数が多すぎて対応に追われるタイミングでは、大慌てする姿も可愛らしかったです。他のクラスのお店屋さんに行ったり、遊戯室でゲームをしたり、食べたりなど夏祭りを存分に楽しみました。



カブトムシになりました

ばら組で飼っている2匹のカブトムシは、日中はほとんど土の中で過ごしていて、時々、昼間にゼリーを食べる姿や土の上を散歩する姿を見ると「先生、カブトムシ動いてるで～」と教師や友達に知らせていました。そこで、興味・関心をもっているカブトムシを折り紙で折ることにしました。折る工程が少し多かったです、どの子どもも集中して折っていました。

できあがったカブトムシは、教師が用意しておいた画用紙でつくったはちまきにのりで貼り、お面を完成させました。翌日、子どもたちは、登園してすぐに「もうつけていい？」と喜んで頭に装着しながら身支度をしていて、微笑ましかったです。ばら組カブトムシたちは園内を散歩した後、森の中（遊戯室）に辿り着きました。森の中では、ジャンプをしたり、ひっくり返ったり、飛び回ったり様々な動きを楽しみました。のびのびと体を動かす子どもたちは、どこから見てもカブトムシそのものでしたよ。



絵の具で描いたよ

「絵の具で何を描いてみたい？」と皆に聞くと、「魚がいい」「サメ～」「プールで遊んでいるところ描きたい」「ひまわり」など、子どもたちの描きたい思いがいっぱい聞かれました。そこで、『夢のプール』を描いてみよう」となり、絵の具で自分をかき始め、絵の具が乾くとクレパスで水着や水泳帽をかいたり、カラフルな色の絵の具でサメをかきながら「先生、緑色がほしい」と知らせたり、大きなクジラをかき「このクジラは、今、陸に上がってきたところやねん」などたくさんのお話をしながら楽しくかいていました。

